

- 問1 大老の井伊直弼が「安政の大獄」と呼ばれる大規模な弾圧を強行した歴史的な背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. オランダ商館長から開国の勧告を受けたことで、速やかに身分制度を廃止し、西洋風の近代国家を樹立しようとしたため。 | 2. 不平等条約の改正を求める民衆の暴動を鎮圧し、江戸の治安を維持するために厳しい罰則を設ける必要があったため。 | 3. 天皇の許可を得ないまま独断で条約を結んだことや、将軍の後継者問題をめぐって幕府を批判する反対派を排除するため。 | 4. 藩籍奉還や廃藩置県に反対し、武力による倒幕を計画していた薩摩藩や長州藩の指導者を一掃するため。 |
|--|--|--|--|
- 問2 産業革命は人々の生活に豊かさをもたらした一方で、急速な都市化に伴う深刻な社会問題も引き起こしました。当時のイギリスの工業都市で発生した社会問題の説明として、適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 工場での生産が過剰になり、すべての製品が売れ残って都市が廃墟化したこと | 2. 農村部での労働力不足により、国内の食料自給率が極端に高まりすぎたこと | 3. 労働者が集中したことによる住宅不足や、不衛生な環境による生活環境の悪化 | 4. 都市部の地価が高騰しすぎて、すべての工場が再び農村部へ移転したこと |
|--|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問3 1857年のインド大反乱を鎮圧したイギリスは、それまでのインド統治の仕組みを大きく転換させました。この際に行われた政治的な処置として適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. インド国民会議を組織させ、インド人の代表による完全な自治を認めた。 | 2. フランスと協力して、インドを南北に分割して統治する共同統治領とした。 | 3. インドでの統治を担っていた東インド会社を廃止し、イギリス政府による直接統治に切り替えた。 | 4. ムガル帝国の皇帝に全権を与え、イギリスの代理として統治させる制度を確立した。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
- 問4 1858年、江戸幕府がアメリカとの間で結んだ日米修好通商条約において、アメリカ側の代表（総領事）として下田に着任し、貿易の開始を求めて交渉にあたった人物は誰か。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|--------|---------|
| 1. ハリス | 2. オールコック | 3. ペリー | 4. パークス |
|--------|-----------|--------|---------|
- 問5 欧米諸国がアジアへの進出を強めていた19世紀半ば、1853年にペリーが日本へ来航しました。この出来事の背景にある世界史的な流れを説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 第一次世界大戦中にロシア革命が起こり、社会主義国家が誕生したことで、アジアにおける冷戦構造が形成され始めた時期である。 | 2. フランス革命によって市民社会の基礎が築かれた後の時期であり、アメリカ国内で奴隷制などを巡り南北戦争が始まる数年前のことである。 | 3. イギリスで議会政治の基礎となる名誉革命が起こった直後の時期であり、欧米諸国が絶対王政の下で植民地獲得を競っていた。 | 4. マゼランの船団が世界一周を達成し、キリスト教の布教を目的としたスペインやポルトガルの勢力が日本に到達し始めた時期である。 |
|--|--|--|---|
- 問6 1867年、江戸幕府の第15代将軍であった徳川慶喜が、政権を朝廷に返上した出来事を何といいますか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------------|---------|
| 1. 大政奉還 | 2. 版籍奉還 | 3. 王政復古の大号令 | 4. 廃藩置県 |
|---------|---------|-------------|---------|
- 問7 1860年ごろ、日米修好通商条約などの締結によりアメリカやイギリスとの貿易が開始された結果、日本国内では激しい物価の上昇が起こり、人々の生活に大きな打撃を与えました。この背景として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地主や商人が将来の値上がりを見越して米などの穀物を大量に買い占めたことで、市場に出回る食料が極端に不足し、価格が高騰したため。 | 2. 日本と海外との金銀の交換比率の違いから大量の金貨が海外へ流出し、さらに生糸などの生活必需品が輸出に回されて国内で品不足になったため。 | 3. 欧米諸国への対抗策として軍備を拡張するため、幕府が軍需品の生産を最優先し、民間向けの生活必需品の生産を制限したため。 | 4. 大規模な凶作によって米の収穫量が激減したことに加え、都市部の商人が米を売り惜しんだことで、全国で「米騒動」と呼ばれる暴動が発生したため。 |
|--|---|---|---|
- 問8 1853年、アメリカの東インド艦隊司令官ペリーが4隻の軍艦（黒船）を率いて来航し、長年続いていた「鎖国」の状態から日本に開国を迫った場所はどこですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 浦賀（神奈川県） | 2. 長崎（長崎県） | 3. 下田（静岡県） | 4. 箱館（北海道） |
|-------------|------------|------------|------------|
- 問9 1860年代のアメリカ合衆国では、国内が二つの勢力に分かれて内戦が勃発しました。この戦争の背景について、当時の北部と南部の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 西部の開拓を優先する北部と、先住民との共生を主張する南部との間で、領土の拡大方針をめぐる対立が深まった。 | 2. 工業化を進める北部が奴隷制に反対し、保護貿易を求めたのに対し、綿花栽培が盛んな南部は奴隷制を維持して自由貿易を求めた。 | 3. キリスト教の旧教（カトリック）を信奉する北部と、新教（プロテスタント）を広めようとする南部との間で宗教戦争が起こった。 | 4. イギリスからの独立を目指す北部の植民地軍に対し、本国の王政を支持する南部の勢力が武力による弾圧を試みた。 |
|---|--|--|---|
- 問10 幕末の政治情勢において、1867年に徳川慶喜が「大政奉還」を行った主な目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 明治新政府の役職をあらかじめ確保するため、天皇の許可を得て藩を廃止することを狙った。 | 2. 武力倒幕の口実を奪い、徳川家が参加する形で新体制を構築し、主導権を維持しようとした。 | 3. 全国の諸大名に領地を返上させることで、封建制度を終わらせ近代的な徴兵制を導入しようとした。 | 4. 欧米列強による開国要求を退けるために、朝廷と幕府の対立を完全に解消し軍備を増強した。 |
|---|---|--|---|
- 問11 1854年にアメリカのペリーと江戸幕府との間で結ばれた日米和親条約では、アメリカ船に薪水や食料を補給することを目的として、2つの港を開くことが決められました。そのうちの1つは静岡県の下田ですが、もう1つ、北海道の南部に位置する港はどこですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 新潟 | 2. 函館 | 3. 横浜 | 4. 長崎 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問12 幕末の開国にともなう貿易の開始は、日本の社会に大きな混乱をもたらしました。当時の物価と庶民の生活について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 輸出が活発になったことで、都市部の労働者の賃金も物価上昇を上回るペースで引き上げられた。 | 2. 横浜での貿易開始後、国内の品不足から物価が急騰したが、賃金が上昇しなかったため庶民の生活は苦しくなった。 | 3. 外国から安くて質の良い商品が大量に輸入されたため、物価が下落して庶民の生活は以前より豊かになった。 | 4. 幕府が物価を安定させるために、生活必需品をすべて買い上げて庶民に安く配布する政策をとった。 |
|---|---|--|--|